平成 25 年度実施 新規事務事業マネジメントシート 作成日: 平成 24 年 12 月 21 日

総	事系	务事業	と	ζ	給水:	スタント	*急速ろ過槽修繕事	業	事	後(中間)評価対象事業		
1140	403									1	1 1 ±	林務商工観光担
合計	.	政策名 					舌性化に向けたまち		所属課	産業振興課	担目	Á
画				<u> </u>					課長名	髙橋好雄	担当者名	圣部健一
予算科			目	•	会計 1		項 目 事業 0 2 0 1 0 0	事業コード 6 給水スタンド管		塩谷町尚仁沢湧水供	給施設管理規	星
事業期間					☑ 単年度のみ □ 単年度繰返 (開始年度				年度)	期間限定(年度~	年度)
1 事務事業概要 唯一無二の貴重な地域資源「尚仁沢湧水」を適正かつ有効に活用し、地域の活性化を図るために給水スタンド(尚仁 水供給施設)を運営しているところであるが、業者向けに使用する急速ろ過(砂ろ過)槽の修繕(砂の入れ替え)が平成1 の運営開始後に一度も行われていない状況であり、今回、修繕する事業である。 本来であれば5年経過後に総量の半分、さらに5年後に残分を行うべきものであるが、前述の状況から、今回、全量(2. を行うものである。 2 概算事業費 2,340,000円(業者からの見積額)												
1	活動	動の記	16	画(浔	的と指 動 の 砂ろ過	i標 量・大 過) 槽の	きさ・規模等) ・修繕			動指標(事務事業の活動量を表 名称 繕回数	長す指標)	単位
② 対象(事業は 尚仁沢湧水供給					・何る 色設使	シ対象 (可用許す	こしているのかを記 可業者の使用	載)	' '	象指標(対象の大きさを表す指 名称 設使用許可状況	:標)	単位 業者
									果指標(対象における意図の通名 名称 給量 用料	達成度を表す指標)	単位 ㎡ 千円	
(2)	指	標∙総	事	業費	貴の推	移				7.14.1.1		. 113
_/												
(2)						単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度 総合計画 最終年度
	動士	上海	ア	実	標値	単位回回回	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	総合計画
	動打	指標	アイ	実	績値 標値	回 回 0	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	総合計画
活			アイア	里	績値	回 回 0 0 業者	平成24年度	平成25年度 1 	平成26年度	平成27年度	平成28年度	総合計画 最終年度 1
活		 指標 指標	アーイアーイ	実目実目実目	績値 標値 標値 標値	回 回 0 0 業者 業者		1				総合計画 最終年度 1
活			アイアイア	実目 実目 実目 実	績値 標値 標値 績値	回 0 0 業者 業者 0 0		1				総合計画 最終年度 1
活	象技		アイアイア	実目実目実目実目実	績標績標績標績標績 値値値値値値値値値	回 0 0 業者 業者 0 0 m	8		8	9	Ş	総合計画 最終年度 1 1 10 10 2,500
活	象技	指標	アイアイ	実目実目実目実目実	績標績標績標 標値 標値 値値	回 0 0 業者 業者 0 0	2,163 653	2,100	2,100 634	2,300	2,300	総合計画 最終年度 1 1 10 2,500 755
活対成	象	指標指標則	国匠	実目実目実目実目実画支	續標績標績標績標績標績 値値値値値値値値値 金	回 0 0 *業者 0 m 所 千円	8. 2,163	8 2,100	2,100	2,300	2,300	総合計画 最終年度 1 1 10 10 2,500
活 対 成	象排果排	指標 財源	見県	実目実目実目実目実 画支出方	續標 標 標 標 標 標 標 信 信 信 信 信 信 信 信 信 信 信 信 信	回 回 0 業者 業者 0 0 m 千円 千円	2,163 653	2,100	2,100 634	2,300	2,300	総合計画 最終年度 1 1 10 2,500 755
活 対 成	象 果 事業	指標指標則	見県	実目実目実目実目実 画支出	續標 標 標 標 標 標 標 信 信 信 信 信 信 信 信 信 信 信 信 信	回 回 0 2 業者 0 0 m 千円 千円 千円 千円	2,163 653	8 2,100 634 平成25年度	2,100 634	2,300	2,300	総合計画 最終年度 1 1 10 2,500 755 平成32年度
活 対 成	象 果 事業費		国県はつき	実目実目実目実目実画支出がの場計	績標績標績標績標績標績 出金貴也源(A)値値値値値値値値値値値値値	回 回 0 *業業者 0 0 m 千円 千円 千円 千円 千円 千円	2,163 653	2,100 634	2,100 634	2,300	2,300	総合計画 最終年度 1 1 10 2,500 755 平成32年度
活対成投入量	象 果 事業費 人件		国県 は 一 費 は ま	実目実目実目実目実画支出方の財産務	績標績標績標績標績標績 出金貴也源(A)引値値値値値値値値値値値値値 金	回回 0 0 業業 0 0 m 千千 千千 千千 千千 千千 千千 千千 千千 千千 千千 千千 千千 千	8 2,163 653 平成24年度 0 1	1 8 2,100 634 平成25年度 2,340 2,340 2,340 1 20	8 2,100 634 平成26年度 0 1	9 2,300 694 平成27年度 0 1	2,300 694 平成28年度	総合計画 最終年度 1 10 10 2,500 755 平成32年度 1,200 1,200 1,200 20
活 対 成 投入量	象 果 事業費 人	指	国県 は で で は で は で は で の に の の の の の の の の の の の	実目実目実目実目実画支出方の財計の解計の報計	績標績標績標績標績標績 出金責也源(A)基値値値値値値値値値値値値値値値	回回 0 0 業業 0 0 M 所 千千 千千 千千 千千 千千 千千	8 2,163 653 平成24年度	8 2,100 634 平成25年度 2,340 2,340	8 2,100 634 平成26年度	9 2,300 694 平成27年度	2,300 694 平成28年度	総合計画 最終年度 1 10 2,500 755 平成32年度 1,200 1,200 1,200 1,200 20 80
活 対 成 投入量	象 果 事業費 人件費	指	国県から一貫員第費ス	実目実目実目実目実目実して、般計様を動いる。	績標績標績標績標績標績 出金貴也源(A, 時)(B, H)(B)(B)(B)(B)(B)(B)(B)(B)(B)(B)(B)(B)(B)	回回 0 0 業業 0 0 ㎡ mmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmm	8 2,163 653 平成24年度 0 1	1 8 8 2,100 634 平成25年度 2,340 2,340 2,340 1 20 80	8 2,100 634 平成26年度 0 1	9 2,300 694 平成27年度 0 1	2,300 694 平成28年度	総合計画 最終年度 1 10 10 2,500 755 平成32年度 1,200 1,200 1,200 1,200 20 80
活対成投入量	象 果 事業費 人件費ト		国県 は で で は で は で は に に に に に に に に に に に に	実目実目実目実目実し支出方の財子の議員に対する。	續標績標績標績標績標績 出金責也源(A, 間(B+) 出金値値値値値値値値値値 金	回回 0 0 常業業 0 0 ㎡ mmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmm	8 2,163 653 平成24年度 0 1	2,100 634 平成25年度 2,340 2,340 1 20 80 2,420	8 2,100 634 平成26年度 0 1	9 2,300 694 平成27年度 0 1	2,300 694 平成28年度	総合計画 最終年度 1 10 2,500 755 平成32年度 1,200 1,200 1,200 1,200 1,200 1,200 1,200 1,280
活対成投入量	象 果 事業費 人件費 事業		国県 は で は は に は に に に に に に に に に	実目実目実目実目実画支出方の財産の選手の対象を表する。	續標績標績標績標績標績 出金貴也源(A N B) 出金貴也値値値値値値値値値値 金	回回 0 2 3 4 0 0 0 0 2 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	8 2,163 653 平成24年度 0 1	2,100 634 平成25年度 2,340 2,340 1 20 80 2,420	8 2,100 634 平成26年度 0 1	9 2,300 694 平成27年度 0 1	2,300 694 平成28年度	総合計画 最終年度 1 10 2,500 755 平成32年度 1,200 1,200 1,200 1,200 1,200 1,200 1,200 1,280
活対成投入量	象 果 事業費 人件費ト 事	指	国県 サイー 費買 第 費ス 一 国 県 サイー	実目実目実目実目実し支出が設計である。	績標績標績標績標績標績 → 出金貴也源(A・時 B)+ → 出金貴也源値値値値値値値値値値値 → 金魚の数 B) → 金魚の	回回 0 0 業業 0 0 ㎡ mmmm 千千千千千千八 時千千 千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千千	8 2,163 653 平成24年度 0 1	2,100 634 平成25年度 2,340 2,340 1 20 80 2,420 平成25年度	2,100 634 平成26年度 0 1	9 2,300 694 平成27年度 0 1	2,300 694 平成28年度 (C 1	総合計画 最終年度 1. 1. 10 2.500 755 平成32年度 1,200 1,200 1,200 1,200 1,280 平成32年度
活 対 成 投入量 投入量	象 果 事業費 人件費ト 事業費	指 財源内訳 事正 夕 財源内訳 事正 標 標	国県 サイー費員 第春ス 写 国県 サイー費員	実目実目実目実目実し支出が設計の議員に対する場合で設計の場合に対する。	績標績標績標績標績標績 出金責也源(5 時B + 出金貴也源(4)基値値値値値値値値値値値 金) () () () () () () () () ()	回回 0 2 3 4 0 0 0 0 2 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	8 2,163 653 平成24年度 0 1	2,100 634 平成25年度 2,340 2,340 1 20 80 2,420	8 2,100 634 平成26年度 0 1	9 2,300 694 平成27年度 0 1	2,300 694 平成28年度	総合計画 最終年度 1. 1. 10 2.500 755 平成32年度 1,200 1,200 1,200 1,200 1,280 平成32年度

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果					
目 ① 公共関与の妥当性 的 妥 なぜこの事業を町が行わなければな 当らないのですか?税金を投入して、	唯一無二の貴重な地域資源「尚仁沢 湧水」をろ過精度に問題ない供給を 行う上で必要である。	✓ 適切		適切					
当 らないのですか?税金を投入して、性達成するものですか?評価		見直し余地あり		□ 見直し 余地あり					
② 着手・実施の必要性 有 効 この事務事業をなぜ着手・実施しな 性 ければならないのか?先延ばしにで	本来であれば従前(平成17年度頃以降)に行うべきであったが行われておらず率先すべきである。			適切					
評 きない理由は何か? 価 		□ 見直し 余地あり		□ 見直し 余地あり					
③ 総事業費の算定根拠効 薬 算定にあたってコスト削減策を考え性にか?将来のコスト増要因に対して	本来5年ごとに修繕(入れ替え)を行う ものであるが未実施であり、適正な運 営を考えれば削減の余地はない。			適切					
評 対策が考えられているか? 価 		見直し余地あり		□ 見直し 余地あり					
④ 受益と負担との関係 公 平 事業の内容は受益と負担との公 性 平性が考慮されているか?	有料である施設を使用しない尚仁沢 名水パーク利用業者もあり、使用業者 も伸び悩み、負担面で受益より多額に なっている。			□ 適切					
に 十年が 考慮されているが : 評 価	120 CV 30°	見直し余地あり		□ 見直し 余地あり					
3 事前評価結果		事		月 4日					
(1) 事前評価者として判断した今後		-1210							
✓ 1次案のまま採択(2)採択条件		下採択 3. 比二声范/声 変	□ 差し戻し	口 40 体 \					
(2) 抹扒笨件			<mark>事業に関する指示、事後</mark> (中間)評価 は来5年ごとの実施が必要といわれる						
			と、および不純物が少ないことから現 尚仁沢のブランドイメージを保つた&						
		ケーが推奨する更	新時期を大きく過ぎていることから、						
		は妥当と判断する。 本来必要とされる	5年単位の更新の時期延長にあたり	次期更新の判					
	<u> </u>	所材料および、外部	部への適切な説明のため、(稼働率						
	d	(る)理由等を整理	してもくこと。						
D = 14 ==				_					
4 成果検証		事後(中間	引)評価日: 平成 年	月 日					
事務事業実施後									
の概要 (実施しての効									
果、受益者等の 反応、問題点、									
課題等を記載)									
(1) 評価結果(今後の方向性) 「優(成果大) 同良(良好) 可 可 不可(成果なし・中止・計画変更必要)									
(2) 総評		3) 指示事項							
		再評価対象	事業						